

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">総合演習 I</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">教育教福 1 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">高村 博正</p>		
<p>授業テーマ：</p> <p>「学生」が「教師」になるためには、初年度においてどのような基本的訓練をすればよいかという点をみんなで考え、実践したい。主に人としての基本的マナーの実習がテーマである。</p>				
<p>業の概要と目標：学生一人ひとりが「教師」となると仮定して、各自が提案する「授業」を「運営」する。このような討論・体験・実習を通じて、「将来の教師としての基礎学習・準備」の演習である。</p>				
<p>評価方法：前期・後期の定期試験の他に、毎回の訓練参加とスコアカードの記入成果が評価の対象になる。毎回の評価点（100点満点）の積算を講義回数で割り、その6割以上獲得が基本点。優良可の評価は従来通り。欠席は-20点を加算。遅刻は当日の得点を半減する。初回に一年分のスコアカードを配布する。毎回の評価点は、宿題の準備と成果が4割を占め、授業での訓練の評価が6割となる。教師が学生を評価するだけでなく、逆に学生が教師を毎回評価するシステムを採用する。</p>				
<p>テキスト：</p> <p style="text-align: center;">特に指定しない。授業中に適宜、提示する。</p>	<p>著者：</p>	<p>出版社：</p>		
<p>参考書：</p> <p>①「発音クリニック——小学校英語担当者の発音自己訓練法」</p> <p>②「教師を育てる生徒たち——A 中学校における実験的英語発音クラスの報告——」</p>	<p>著者：</p> <p>高村博正 高村博正</p>	<p>出版社：</p> <p>大谷女子大学『紀要』01 『大谷女子大学教育福祉研究』31</p>		
<p>授授業スケジュール・内容：</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; vertical-align: top;"> <p>【前期】</p> </td> <td style="width: 50%; text-align: center; vertical-align: top;"> <p>【後期】</p> </td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>9. 「私の授業⑥」</p> <p>10. 「私の授業⑦」</p> <p>11. 「私の授業⑧」</p> <p>12. 「私の授業⑨」</p> <p>13. 「私の授業⑩」</p> <p>14. 「私の授業⑪」</p> <p>15. 後期テスト</p> </div>			<p>【前期】</p>	<p>【後期】</p>
<p>【前期】</p>	<p>【後期】</p>			